

番傘フェスタ2022 誌上大会

参加者 736名
投句整理 美馬りゅうこ
名簿作成 中岡千代美 銭谷まさひろ
清簿記 鮎子田嘉子 中岡千代美

令和4年の番傘フェスタも昨年に引き続き新型コロナウイルス対策のため、誌上大会として実施いたしました。

一堂に会することができず残念ですとの声もありましたが、おかげさまで全国各地から700名を超える多数のご参加をいただきました。

コロナ禍がいつ明けるか見通しのつかないなか、フェスタを盛り上げていた

いた全国の柳友の皆さまへ感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。また選句の労をいただいた選者の方にもあらためて感謝申し上げます。厳選となりましたが、入選句は各題80句、うち各3句をフェスタ賞といたしました。皆さまの力作です、じっくりご鑑賞いただければ幸いです。

番傘川柳本社では、12月10日(土)に

「故磯野いさむ名誉主幹偲ぶ会」の開催を予定しております。コロナ禍が収まることを祈念しつつ、多数の方のご出席を待ちしております。

皆さま方にはご健康に留意され、お元氣にお過ごし下さいませよう心からお祈り申し上げます。

参加者ご芳名 府県別 (50音順)

北海道 7名

青柳 忠

替地三枝子

青森県 1名

須藤しんのすけ

東 考矢

高橋くるみ

石田 隆雄

高橋みっちょ

小山内 睦

水戸 二七

秋田県 1名

田村美穂子

宮城県 10名

菅野 實

田村 富夫

木田比呂朗

仁多見千絵

渡邊 とり

榊原 栄宜

深谷 隆志

眞島三嘉子

佐藤 俊幸

山形県 1名

鈴木 良次

福島県 4名

安藤 敏彦

茨城県 1名

齋藤 松雄

群馬県 1名

勢藤 潤

埼玉県 8名

青木 薫

酒井 トミオ

千葉県 15名

稲沢 ひろせ

岡部 則正

小菅 八柳

増田 幸一

東京都 14名

池上 幸子

上村 脩

島村 青窓

宮本 彩太郎

神奈川県 10名

石田 哲夫

近藤 道子

やまぐち 珠美

富山県 11名

荒井 真理子

ただれいな

やまぐち 九

石川県 11名

穴田 圭子

隅田 外男

藤田 のぶこ

福井県 29名

石谷 恵子

九頭龍 加代子

茶谷 好太

中谷 栄子

長谷川 あけみ

細川 正章

村井 長雄

横井 幸子

山梨県 1名

鮎川 弘子

長野県 4名

甲野 美文

岐阜県 5名

大島 風子

山崎 修二

岩倉 博子

林 進

山下 功

河内 かよ子

外浦 恵真子

藤村 容子

和泉 和子

佐々木 快生

堂前 昌彦

西川 節子

羽生 悦郎

前川 正子

村田 繁一

伊藤 良一

島田 千代子

土藏 芳竹

西谷 公造

久崎 田甫

松嶋 由美子

八木 柚子

佐藤 きよし

寺井 一也

山本 静香

久々 湊公美子

古川 政章

山田 敏彦

佐藤 きよし

寺井 一也

山本 静香

伊藤 良一

島田 千代子

土藏 芳竹

西谷 公造

久崎 田甫

松嶋 由美子

八木 柚子

佐藤 きよし

寺井 一也

山本 静香

伊藤 良一

島田 千代子

土藏 芳竹

西谷 公造

久崎 田甫

松嶋 由美子

八木 柚子

佐藤 きよし

黒田 留美子

宮本 海風

新保 芳明

中川 洋子

桑野 まりこ

巽 俊一

戸田 清孝

野路 博巳

藤田 とよ子

みつ木 もも花

柳本 君代

武田 香風

古川 豊

丸山 重司

静岡県 4名

梅川 一恵

愛知県 46名

青嶋由紀美

位田 仁美

木原 榮二

近藤 塚王

鈴木 かつえ

高木みち子

都築三千男

中根のり子

橋本 恭治

本多 雅子

山口タカシ

山本三樹夫

三重県 25名

池田 金一

河合恵美子

竹岡 訓恵

長尾 順子

広森多美子

森 久雄

吉福万利子

小林ふく子

安西 廣恭

小川 加代

来本 芳子

佐藤 陶猿

鈴木 明代

高浜 広川

寺部 水川

中之瀬きみ

橋本 律雄

松岡 弘子

山下 勲

山本 鈴花

稲葉 岩明

久保 光範

竹島 晃

橋倉久美子

毎熊伊佐男

山門 麗子

藤田 盛雄

市川 博

加地 久子

小林 祥司

白井 昭

住田 律子

竹内そのみ

富田 末男

中村 鈴子

原 雄一郎

武藤 伶子

山下 吉宣

大嶋都嗣子

久保田 寿

津田 純子

浜野みさえ

御堂美知子

山口 龍一

米山明日歌

稲垣 義舟

河合 守

近藤 圭介

杉浦 きみ

田岡 修二

田中五十鈴

永井河太郎

成瀬 雅子

堀内 重紀

山内 悦次

山本 宏

奥田 悦生

郡司ヨシ子

富川 章

樋口万智子

森 繁生

吉川 俊子

滋賀県 1名

子林まゆみ

京都府 20名

荒井 加寿

木津 遊々

曾根田 夢

橋度 秀子

前中 知栄

大坂府 150名

穂山 常男

池田 武彦

入江 晴菜

植野 繁子

江島谷勝弘

太田 省三

小川賀世子

加當 良子

川畑まゆみ

神田 良子

北村 賢子

木村シズエ

桑原すゞ代

兒玉 重信

坂本 星雨

池本 ゆき

木下 正己

竹明なおみ

広瀬 勝博

森田 律子

足立 淑子

井澤 寿峰

入江 秀雄

上山 堅坊

榎本 舞夢

大堀 正明

荻野 浩子

亀澤 貢

川畑めぐむこ

北川ヤギエ

吉川 哲矢

木村 益夫

桑原ひさ子

小寺八重子

阪本 秀子

市井 美春

下岡 昌美

津田 照子

藤本 鈴菜

山本 昌乃

油谷 克己

石田 孝純

岩田 明子

碓氷 祥昭

大島ともこ

岡田 幸子

片岡 加代

掃部 博隆

川端 六点

北出 北朗

木見谷孝代

楠本 晃朗

くんじろう

子安 武

佐々木満作

掛川 徹明

上坊 幹子

西尾美紗子

古崎 徳造

渡邊真由美

阿部 俊八

井本 健治

上出 修

宇都満知子

大島美智代

岡部 幹和

片山かずお

加山よしお

苅田 修

北畑 英樹

木村佳代子

久世 高鷲

香月 みき

小山恵美子

貞重 衛士

佐藤 后子	澤井 敏治	柴田 桂子	嶋 喜八郎	兵庫県 50名	赤井 花城	安部 美葉	伊藤 義幸
清水 汎	正信寺尚邦	白井 笙子	新川 弘子	青木 公輔	上田 和宏	上野多恵子	太田としお
鈴木 栄子	瀬川 幸子	銭谷まさひろ	千田 祥三	井上 高島	奥澤洋次郎	河内谷 恵	北野 哲男
滝川 重人	竹村 穂夫	立蔵 信子	田中きみ子	大原八十八	興水 弘	小西 博稀	小山 紀乃
田中 螢柳	田中 新一	田中美弥子	谷口 東風	黒田 弥生	佐藤寿美子	澁谷さくら	瀬島流れ星
辻 肇	土田 欣之	津守 柳伸	露のききょう	こやまひろこ	武田 聡	辰巳 和子	田中おさむ
出口セツ子	寺阪恵美子	土井 智子	栃尾 奏子	宗 和夫	田吹 宗鉄	為広 鈴美	敏森 廣光
内藤 憲彦	中井 佳子	中川 彰一	永田梅太郎	谷口 修平	長江 時子	中岡千代美	長島 敏子
中野 勲	中野 博正	中原 京子	南波 正宗	富永 恭子	西 美和子	萩原 典呼	樋口 祐子
西上 遊二	錦織 久	西澤 司郎	沼澤 妙子	新早 義明	藤村とうそん	堀口 雅乃	前川 淳
沼田 捷二	年梅 道子	濱野とみ子	林 みどり	平松 直樹	松倉 正美	みぎわはな	宮本 緑
原田 正士	半澤 一起	東 敬朗	樋口 眞	楨田 次郎	村田 博	矢野 野薫	山内 迪
平井美智子	平尾 定昭	平田ケン次郎	藤井満洲夫	村上 氷筆	山辺 和子		
藤井 康信	藤川 八重	藤島たかこ	鮎子田嘉子	山尾ふたば			
藤田 武人	富士野耕平	藤本 和	藤山 ひさ	奈良県 71名	安福 和夫	井倉 和子	生駒さとし
本田 智彦	松井あもん	松本あや子	三ヶ津つや子	饗庭 風鈴	稲葉 良岩	上田 幸一	上田 有行
水野 黒兎	南 高志	美馬りゅうこ	三村 一子	居谷真理子	大内 朝子	大楠 紀子	大久保眞澄
三好 聖水	森 茂俊	森井 克子	森田 旅人	植野美津江	太田のりこ	大西 将文	沖本 万喜
森中恵美子	安田美紗江	山崎 達彦	山田貴久子	太田 佳生	加藤江里子	木嶋 盛隆	栗原つや子
山田 昭市	山田 俊英	山野 寿之	山藤 聖子	奥 勝視	小林すみえ	こはりつよし	五味 尚子
山本 捷美	山本さくら	湯澤 孝扇	弓山 アヤ	小金澤貫一	阪本きりり	阪本 高士	笹倉 良一
吉岡まさお	吉川 雅美	吉永みどり	吉村八恵子	阪口 幸若	更谷 風見	澤山よう子	柴田 園江
和気 慶一	渡辺たかき			佐藤 辰雄	正司 珠梨	杉本 明雄	高橋 寿久
				下村 郁子			

竹原 悦子	田中 薫	長井 喜隆	中川 清孝	藤井 智史	松本 藍	八木 芙卯	保田 恭子
中城 裕子	中堀 優	仲村 周子	中山惠美子	広島県 37名	淡路 獏	出廣トヨ子	岩本 笑子
中山 良久	那須 鎮彦	西澤 知子	長谷川崇明	安部 敦子	鴨田 昭紀	川上 咲良	楠山東石子
林 ともこ	播本 英二	樋浦 桜竜	菱木 誠	奥村 吉風	熊川 勝彦	小畑 宣之	齋藤 佳子
藤田 和甫	藤原 正義	藤原 黎子	古川 洋子	久保田 進	塩谷 邦子	穴戸三喜恵	蔀 帆子
細田 貴子	増井 純子	松本 柎子	向井 沃	笹重 耕三	瀬戸れい子	高東八千代	高橋 孝造
目黒 友遊	毛利 元子	森 喜美代	山下 純子	住田 照水	常國 喜好	土居 直子	問可 圧子
山田 謙造	山田 順啓	山田 恭正	吉田 栄子	近末 夕子	豊田 芳香	中久保四郎	中野 妙子
吉富ひろし	米田 恭昌	渡辺 富子		渡田 慧水	野村 賢悟	飛田 陽子	福田 淳子
和歌山県 5名				西岡 信彦	松岡登代子	松本壽賀子	米田 恵子
小原 敏照	柏原 夕胡	木本 朱夏	前田か乃子	堀 さちこ			
三宅 保州				若山 宗彦			
鳥取県 2名				山口県 6名			
新家 完司	西浦 小鹿			岩瀬 元介	上村 夢香	加藤 富清	河村 祥子
島根県 11名				神田 鈴佳	新川 博子		
石橋 芳山	内田 厚子	大岩 郁夫	山藤 照恵	徳島県 15名			
高橋久美子	高橋 麗子	田中 堂太	平田千恵子	木藤 恵子	黒崎 俊彦	黒田るみ子	佐藤 久美
山形ゆうき	山形由美子	渡辺 康乃		中村 流星	仁木 弘子	能田 文夫	橋本 征介
岡山県 24名				橋本 当枝	林 ひろ子	福本 清美	宮崎 達二
赤本富美子	池上和佐納	市田 鶴邨	大石 洋子	山ノ井茂美	湯浅 房子	吉田 悦子	
大杉 敏夫	岡本 余光	小澤誌津子	尾原 洋子	香川県 17名			
菅田 陽子	木下 草風	工藤 圭志	黒岩 博美	大高 正和	香川 大	香川 保子	川西 義仁
清水 照一	杉山 静	染山 朝子	高橋由紀女	坂下 久子	真光アキ子	嶋村 幸	神内 澄子
田中 蛙鳴	谷川 香興	永見 心咲	福田百合江	末沢真奈生	谷本 清雲	田渕 愛子	福井チエ子

藤田 雅士	藤野 さき	美馬ていほ	長崎県 8名	瀬戸 波紋	富永 熙子	中村 行男
みよしすみこ			古賀 直子	松本ひとみ	三瀬清一朗	森本志真子
愛媛県 4名			野口 公明			
池谷三和子	越智 学哲	高畑 俊正	熊本県 10名	北村あじさい	黒川 孤遊	古閑 萬風
高知県 5名			岡崎 信五	清水まち子	杉野 羅天	高倉 新米
伊与田順一	岡村 千鳥	橋田 綾子	阪本ちえこ	村上 哲子		
山本 祐子			中村 勝則			
福岡県 42名			大分県 27名			
青木 茂信	青木ゆたか	井上ますみ	相部 秀彦	秋吉サカエ	足立 岩男	糸永 敦
井上 遊	植田 紀六	榎原まさこ	井上 正彦	伊牟田洋史	大谷 和幸	小代千代子
加賀田千拓	柿添 花子	楠根はるえ	甲斐 典子	金丸 土竜	吉瀬 久子	西東 南北
国房 学	藏田 康子	坂梨 和江	坂本 一光	柴田昭三郎	高木 豊柳	高木 遊楽
坂本 弘子	坂本 喜文	敷田 無煙	高橋 勲	田中 和彦	友永 章子	永松 博文
末永 通子	角野たかし	富永紗智子	永松 凱子	西村 敦子	濱本 なな	福田 尚義
永井 雅子	中村風由子	橋本富美子	藤原美智代	松田みちる	渡辺ひろむ	
馬場かおる	平本つね子	弘津 明子	宮崎県 10名			
真島十三枝	益永 克之	丸野 明子	植田のりとし	恵利 菊江	大山 登華	黒木せつよ
もりともみち	森園かな女	三原 洞南	さとう一徳	てつろう		中武 弓
山中 洋子	吉富 廣	山下 華子	肥田木聞明	日向 倅女	富田 博	
佐賀県 10名			鹿児島県 2名			
江川寿美枝	北村 克郎	中村八十八	上原 幸介	平瀬 芙蓉		
原 加代子	真島久美子	真島美智子				
横尾 信雄	吉丸 等		仁部 四郎	矢ヶ部としこ		計736名

宿題「重ねる」



赤井 花城 選

(ふあうすと川柳社)

戦にはしない重ねる話し合い あと何度接種をすれば済みますか マスク二枚重ねてみてもまだ不安 無駄骨を重ねてやっとな実を結ぶ 立ち食いの湯気の重なる冬の駅 心だけ重ねソーシャルディスタンス 我慢どき旅番組に身を重ね 御無沙汰を重ね故郷遠くなり 重ね着をしても心は冷めたまま 年重ね生きる意欲がわいてくる 乾涸びた手を重ね合い支え合い 気休めに接種重ねる2度3度 フラッシュバックする自分史と慎太郎 愛憎を重ね重ねてルビー婚 調子っぱずれ補いながら二重唱 失敗を重ね人間味が溢れ にんげんが罪を重ねてきた報い 戦中の日々アフガンの子と重ね 年重ね生きた分だけ知恵拾う ていねいに今日もたたんでいる日記 失敗を重ねて自信つけてゆく	福田 淳子 石田 孝純 弓山 アヤ 相部 秀彦 てつろう 本多 雅子 石田 哲夫 河合恵美子 岡崎 信五 吉永みどり 宗 和夫 荻田 修 江畑 哲男 山田貴久子 松本ひとみ 高木みち子 鴨田 昭紀 森園かな女 甲野 美文 茶谷 好太 黒田留美子	たくさんのご恩重ねて生き延びる 称えあう心重ねるグータッチ 年を重ね母は幼くなつていく 春秋を重ねて見える物がある 過誤重ね重ね大きくなる器 夢に夢重ねて明日に期待する 年重ね安全パイで生きてます 年重ね頑固になつてゆく予感 偶然も運も重ねてお立ち台 さくらさくらまた被災地に春がくる 年輪を重ねてにじむ人間味 金婚の月日称える二重唱 愚直に生き齡重ねてきた私 ありがとうの言葉重ねて生きる母 会える日の暦につける二重丸 手の平を重ねて誓うワンチーム 福と福重ね貴方と生きていく 人生の爽りへ脱皮くり返す 思春期の愛は母のミルフィーユ やさしい言葉重ねる垣根消えてゆく 勝ち星を重ね師匠に恩返し	坂下 久子 古川 政章 豊田 芳香 笹倉 良一 田中五十鈴 山口 龍一 本田 智彦 藤本ゆたか 川端 六点 仁多見千絵 福本 清美 青木 薫 黒田るみ子 中井 佳子 平本つね子 白井 昭 真島美智子 高東八千代 栃尾 奏子 内田 厚子 高倉 新米
--	--	---	---

傘寿喜寿妻と重なる誕生日
 想い出を重ねる人がいて元氣
 ありがとう重ねて幸を掴み取る
 経験を重ねてひるまない背骨
 そつと手を重ねてふたりだけの宇宙
 紆余曲折重ねた齡愛おしむ
 たとえばを重ねて生きていくのです
 あの頃の義母と重ねて妻をみる
 年輪を重ねた先にあるひかり
 年重ね心のゆとりもてる幸
 重ねてもなお美への欲漆塗り
 よろこびを重ねる春ののし袋
 愛憎を重ね夫婦の色になる
 研鑽を重ね師弟という絆
 生き生きと昭和平成令和積む
 埋み火の恨みつらみもやがて灰
 三振を重ねてキラリ春の絵馬
 寝たきりへ二人羽織の奮闘記
 暖色を重ね重ねて春を呼ぶ
 机上の逢瀬重ねて源氏いま虜
 重ねた手放すな妻よ命の灯

三瀬清一郎
 稲葉 岩明
 井上 正彦
 熊川 勝彦
 井上 遊
 村田 繁一
 森田 律子
 藤田 盛雄
 碓水 祥昭
 武藤 伶子
 杉山 静
 植野美津江
 黒木せつよ
 長島 敏子
 柴田 園江
 河村 睦子
 尾原 洋子
 山下 功
 西尾芙紗子
 原田 正士
 福田百合江

プレバート試行錯誤を積み重ね
 人間とは何か五七五に重ね
 無償の愛重ねる母さんの両手
 重ねた手離さないでと言ったのに
 重ね着で搬送される夫に添う
 偽りを重ねるにんげんの愚か
 自画像の隅に積もっている懺悔
 波音は海が奏でているカノン
 重ね重ね森からの招待状
 七転八起男は海を抱く
 ただいまとおかえり重ね合える幸
 乗り継ぎを重ねて着いた春の駅
 あたりまえの今日が明日もくるように
 七十二候重ねて移る寧楽暮色
 フェスタ賞
 言葉より心重ねてくれる人
 歳月を重ねて阿咩まで番
 ミソラソを重ねて春の小川色
 錦繡を重ね極まりゆく命

片岡 加代
 坂本 一光
 佐藤寿美子
 入江 晴菜
 渡辺 しづ
 笹重 耕三
 深谷 隆志
 石橋 芳山
 正司 珠梨
 古賀 順子
 伊藤 良一
 小代千代子
 近藤 クニ
 佐藤 辰雄
 鮎子田嘉子
 土田 欣之
 河内谷 恵
 選者吟

宿題「渦」



岡崎 守 選

(札幌川柳社)

ええ仕事してはるラーメンのなると
五欲みな都会の渦へ巻き込まれ
感染拡大どこ吹く風の人の渦
大都会夢と挫折が渦を巻く
突き放す怒濤の渦も愛である
夢に見た都会の渦に磨かれる
赤紙の渦人間を飲み込んだ
人の渦三密どこか置き忘れ
竜巻が地球の怒りに見えてくる
戦地迄慰問亡母の愛の渦
権力の渦に巻かれる小市民
手鏡の底に情念渦を巻く
戦争を知る日の丸の赤い渦
洗濯の渦は明日へのエネルギー
よろこびの渦ブーケが宙を舞う
反戦の声渦巻いて核を持つ
爆笑の渦を斜めに見て孤独
ひよいひよいと渦越えながら進む道
限らない彩が渦巻く人生路
プライドと色が渦巻くネオン街
わたくしを晒す渦中の人となる
愛憎が渦巻いてゆく老介護

川畑まゆみ
さとう一徳
上野多恵子
中村 行男
田中 蛙鳴
九頭龍加代子
内田 厚子
湯澤 孝扇
郡司ヨシ子
出口セツ子
森園かな女
辰巳 和子
更谷 風見
永田梅太郎
仲村 周子
渡辺 富子
安西 廣恭
みつ木も花
中谷 栄子
吉岡まさお
鈴木 和枝
鈴木 栄子
鈴木 栄子

入社したZ時代が渦を巻く
民の声大きな渦に飲みこまれ
人間の業が渦巻く都市砂漠
ネット社会誹謗中傷渦を巻く
兜町世界の欲が渦を巻く
この家の台風の目はいつも母
情報のがが私を離さない
ゆっくりと螺旋になってゆく思想
幸せを笑いの渦が倍にする
大国のエゴの渦巻く脱炭素
情報のがに揉まれていたヒト科
歓喜の渦球児聖地へ初舞台
情報のがに吞まれて立ち泳ぎ
百万が渦巻くイスラムのメッカ
煩惱のがが蠢く大都会
底知れぬコロナ渦巻く世界地図
情念の渦活写した寂聴尼
雑踏の渦にまかれる主義主張
民主化を求める渦は命がけ
疫病の渦に提となる医療
フクシマの海反骨の渦をまく
過労死の蟻が渦巻く永田町

北島 澤
吉田 悦子
坂本 喜文
村上 哲子
櫻木 山彦
露のききょう
鎌田ちどり
真島久美子
井本 健治
田中おさむ
片山かずお
田中 和彦
荻野 浩子
土田 欣之
三瀬清一朗
津守 柳伸
益永 克之
市田 鶴郎
福田 淳子
江口 司
佐藤 益弘
羽生 悦郎

行革の渦に吞まれて行く文化	田中五十鈴
鳩尾の小さな渦はあなたです	米山明日歌
渦潮に揉まれる皇位継承論	鴨田 昭紀
人の渦その一点で生きている	瀬川 幸子
根回しのない正論が渦を巻く	菱木 誠
ジェンダーの渦が日本も巻きおこる	巽 俊一
人間に媚びたりしない渦の芯	佐藤 辰雄
熱血で渦中の栗を拾いあげ	高木みち子
人間の驕り渦巻く自尊心	目黒 友遊
ユーモアを投げてた母の渦恋し	藤原 黎子
カフェオーレの渦へおんなの業が浮く	木藤 恵子
キリン一匹笑いの渦に入れない	田村 富夫
愛という特効薬は渦の中	大山 登華
美しい渦ですきつと愛だろう	和気 慶一
愛憎が渦巻くなかの遺産分け	山野 寿之
路地裏に熱い情けが渦を巻く	黒田留美子
ボランティアきれいな渦になりました	植野美津江
生と死の狭間の渦へ手を合わす	石谷 恵子
先見えぬ渦中で旗を振り続け	青木 薫
迫りくる老いの淋しさ渦になる	三村 一子
万雷の拍手の中のカスミ草	真島美智子
争いの渦民族を真つ二つ	瀬戸 波紋

投げられた石が会議を渦にする	高橋 寿久
欲という渦から出ればみな花野	伊藤 良一
愛憎の渦へ命を見失う	上村 脩

ユーターン渦まく人に酔ったから	菅田 陽子
人生路渦を巻いたり淀んだり	矢ヶ部としこ
ひらめきが渦巻く科学者の右脳	高東八千代

沈黙の胸に渦巻く反戦歌	長江 時子
賛成の渦へ反旗をただ独り	神田 良子
しがらみの渦を断ち切る血の涙	恵利 菊江

青春の渦から掴みとるチャンス	五味 尚子
愛憎の数だけ渦が巻くこの世	近藤 道子
フェスタ賞	

看護師の渦中極まる防護服	宇都満知子
弱虫も都会の渦に生きている	藏田 康子
民主化の渦へ銃口向けられる	油谷 克己

選者吟
幾万の蟻がさ迷う渦の果て

宿題「溺れる」



小島 蘭幸 選

(川柳塔社)

酒にさえ溺れなければ家二軒	上出 修	好き好きで助言は耳に入らない	楠山東石子
あなたの海に溺れて見たい鬼あざみ	湯浅 房子	今日の君に溺れていいですか	堀内 重紀
一滴の水に溺れる蟻がいる	古崎 徳造	独り身の悩み摺まる藁がない	齋藤 松雄
趣味ひとつ溺れゆくり喜寿の坂	高木 遊楽	ふるさとを纏い溺れている案山子	笹重 耕三
しあわせの海で溺れてみたいもの	佐々木快生	溺れてもいいなと思う美酒に逢う	澁谷さくら
今宵また誰より優し酒と寝る	山本さくら	情報の波に溺れて世が見えぬ	永松 博文
策に溺れた竹槍と機関銃	岡部 則正	そのむかし青年マルクスに溺れ	加山よしお
今のうちだけさ溺れなさい孫に	江畑 哲男	ひまわりの黄に耽溺をしたゴッホ	宮本彩太郎
愛に溺れ突っかい棒が離せない	保田 恭子	ビギナズラックで溺れたパチンコ	木嶋 盛隆
さみしさに溺れスマホの舟に乗る	茶谷 好太	ストレスいっぱいアイスにおぼれてる	羽深加寿子
散華散華と煩惱が溺れ死ぬ	鈴木 和枝	横文字の波に溺れているシニア	奥村 吉風
鍍金だと知らず溺れている若さ	平尾 定昭	ひとり浮く男持論に溺れたか	長島 敏子
万華鏡の中で溺れている利那	平井美智子	わたくしはわたくし溺れたりほせぬ	竹岡 訓恵
素敵な街だ人の情に溺れそう	和気 慶一	酸欠の都会溺れているスマホ	菅田 陽子
道楽に溺れる人を嫉妬する	半澤 一起	花吹雪愛に溺れたこともある	瀬川 幸子
語り継ぐ津波にさらわれた命	河内かよ子	便利さに溺れ地球の温暖化	澤井 敏治
心まで失って知る阿頼耶識	小西 博稀	コロナ禍に溺れぬ強い施政待つ	苅田 修
溺れるほど泣いて生まれ変わります	中岡千代美	義理にしばられて人情に溺れる	首藤 忠平
溺れるほどの恋には未だ会えぬまま	大島ともこ	コロナの海医療が溺れかけている	弓山 アヤ
深追いはよそう傷つくのはわたし	植田のりとし	ワイングラスに溺れる濃密な時間	細田 貴子
何もいらぬ君に溺れた至福の日	末永 通子	贅沢に溺れて枯れる赤い薔薇	更谷 風見

溺れない程度の距離で君を推す
 愛に溺れ恋に溺れてまだ一人
 川柳に溺れ惚けずにすんでいる
 川柳に嵌り二次会にも溺れ
 金魚鉢で溺れる意気地ない私
 殺伐とした時世やさしさに溺れる
 八十路来て恋に溺れる夢を見た
 もう一度恋に溺れてみたい古希
 一強に溺れる国々の悲劇
 欲に溺れ情に溺れて宙返り
 助けての声沈みゆく繁華街
 溺れたら妻は私を掴むかな
 酒女賭けに溺れてホームレス
 後悔の一つ溺れた男の名
 みつめないで君に溺れてしまいそう
 落ち椿恋に溺れたのは二十歳
 優しさに溺れ一人で歩けない
 花に溺れるそれも一会の通過点
 溺れないようにワクチン打ってます
 安楽死だったのだろうひのき風呂
 あなたしか見えない広いひろい海

こやまひろこ
 小代千代子
 矢野 野薫
 谷口 東風
 井上 遊
 北村 賢子
 替地三枝子
 藤井満洲夫
 古谷龍太郎
 林 ともこ
 やまぐち珠美
 内田 閑礫
 杉浦 きみ
 桑野まりこ
 外浦恵真子
 山下 華子
 横尾 信雄
 佐藤寿美子
 井本 健治
 常國 喜好
 白井 笙子

言の葉に溺れ遙かな地平線
 推しメンに溺れる友が眩しくて
 淋しさに溺れていますワンルーム
 川柳に溺れ夢みる三昧境
 楽園の島が溺れる温暖化
 ワンタッチに溺れて五感錆びてくる
 東京に溺れて里の訛り消す
 ポケットの中で正論が溺れる
 溺愛をされて翼が退化する
 猫カフェから妻がちっとも出てこない
 幸か不幸か溺れた女妻一人
 後期高齢ジャズに溺れた日の恋し
 耽溺のなき生涯を老いて悔い
 さくらさくらさくら息ができません
 フェスタ賞

北村あじさい
 八木 柚子
 香川 大
 岡本 余光
 小金澤貫一
 小林すみえ
 森園かな女
 楠根はるえ
 鴨田 昭紀
 内藤 憲彦
 金丸 土竜
 田中おさむ
 酒井トミオ
 居谷真理子
 笹倉 良一
 三宅 保州
 辻内 次根
 心酔の路上ライブが夢に出る

選者吟

宿題「街」



硝石 隆子 選

(川柳宮城野社)

街路樹の白もくれんよ春よ春	梅川 一恵	街の子と田舎のわたし無二の友	柳本 君代
地下街を這うニンゲンの薄い影	長島 敏子	ブランドを纏えば街が呼んでいる	穂山 常男
裏の顔表の顔もあって街	中岡千代美	マスク売りの少女かたっている余寒	森中恵美子
オミクロン街鬱鬱と生きている	石川 雅子	ビル街の赤ちやうちゃんがまた消える	北畑 英樹
矢印が救ってくれた地下の街	橋度 秀子	人情に触れるばあちゃんの原宿	荒井真理子
若き日よ街に溺れて道に寝て	貞重 衛士	交付金頼って暮らす基地の街	沖本 万喜
日常が傾いてゆく風の街	平井美智子	君という街が僕には故郷だ	下村 郁子
仕出し屋の明かりの洩れて街眠る	木下 正己	五番街のマリーに既読スルーされ	上坊 幹子
ひそやかに君住む街の地図を買う	弘津 明子	歩きスマホ多くて湿る街の中	上山 堅坊
街灯下の抱擁雪の物静か	久世 高鷲	プライドも包装してる銀座街	矢野 野薫
純喫茶こも閉店シャッター街	川西 義仁	この街で笑顔こぼして歩いてく	染山 朝子
東京へ出てふるさとの良さを知る	正信寺尚邦	もっと怖いよSNSの街って	大嶋都嗣子
街路樹は私の恋を知っている	栃尾 奏子	古里の小さな街にクラスター	西岡 信彦
街頭演説補聴器がきいている	西澤 知子	量販店にヒトモノ取られ街眠る	高橋 勲
スラム街荷風の下駄の音がする	油谷 克己	街角のふとした恋の雨やどり	生駒さとし
母に似た人に出会った街が好き	小代千代子	地下街に来てはくれない救急車	谷口 修平
街を出ます背すじ伸ばして門閉じる	上野多恵子	街中に目玉おやじの探り足	林 進
街角に泳ぎ疲れた金魚たち	もりともみち	四貫島住んで目覚めた鶴彬	こはりつよし
雑踏をマスクが歩く寒い街	古閑 萬風	昼と夜街は2つの顔を持つ	久保田 寿
またしても通天閣が赤くなる	中川 清孝	地下街の隅で時代が流れてる	田村 富夫
五センチの雪で麻痺する大都会	やまぐち九	学生の街もストレス溜めている	大島 凧子

ここで生き死んでもいいと思う街
 母の声していた街があくびする
 街角に忘れ去られた赤電話
 喧噪の育ち喧噪でひと呼吸
 虫食いの街から色が失せている
 カラフルな街で編んでるわたし色
 街灯も並木も踊りそうな阿波
 モノクロになったあなたと生きたあの街も
 想い出を植えて二人で棲んだ街
 冬の街が優しいあたたかい
 酔いどれてみれば親しい街明かり
 仏の声聴く奈良街が好きになる
 みちのくのその街が好き風が好き
 逢いたくてあなたの街へ降りてみる
 その人が住んでいるから好きな街
 コロナ禍の鎧が脱げぬ冬の街
 田舎から街へ染まって忙しない
 眠らない街で出稼ぐ津軽弁
 転がって幸を掴んだ街に住む
 街角でわたしは左あなた右
 故郷へ帰ろう過呼吸症の街
 澁谷さくら
 永松 凱子
 木嶋 盛隆
 美馬りゅうこ
 銭谷まさひろ
 細田 貴子
 柴田昭三郎
 桑原すゝ代
 橋田 綾子
 津田 照子
 木本 朱夏
 仲村 周子
 赤井 花城
 瀬戸れい子
 小川 加代
 笹重 耕三
 山藤 聖子
 岡部 則正
 深谷 隆志
 杉本 明雄
 木下 草風

黎明の街を黙黙掃く市民
 マスク溢れ淡淡とした街明かり
 コロナ禍に町の明かりも泣いている
 雨上がりひと風呂浴びたように見え
 この街が好きあの人がもっと好き
 徘徊の父から消えた街の地図
 鬱にさせ鬱を治してくれた街
 認知症知らない街を歩いてる
 霧の街ロケに石原裕次郎
 少年の神話に青を足す渋谷
 この街であなたと生きてつくしんぼ
 街角に呪文を描くバンクシー
 ざらざらの街にデジタル音積もる
 この街へ母を泣かせて来た二人
 フェスタ賞
 用のある顔して歩く街の人
 やさしい街でやさしい友と枯れてゆく
 既視感の街でやっぱり一人ぼち
 選挙吟
 コンクリートの街で育った耳ばかり
 土田 欣之
 水野 黒鬼
 馬場かおる
 寺阪恵美子
 大高 正和
 伊藤 良一
 川端 六点
 饗庭 風鈴
 くんじろう
 須藤しのすけ
 佐藤 陶猿
 北村 克郎
 阪本きりり
 福富雅律華
 森田 旅人
 入江 晴菜
 居谷真理子

宿題「辿る」



矢沢 和女 選

(時の川柳社)

探し探して辿る春の始まり 本音だけたどっていつも夕焼ける いずれ指す終末時計盤のゼロ 幸福を辿るとジグザグ線になる ノーベルの欠伸を止める試験管 ばらの棘青い記憶を辿りだす 点字読む両の手パズル解くように 地球儀で子の住む国を辿る指 この一歩いつかは夢に辿り着く 足跡を辿れば粋なエピソード 指先で辿る頭文字を辿る 人となり辿れば満開のさくら 過去なんかもう辿らないかぐや姫 点字の詩指かるやかにひめやかに 月の下灯り辿って逢いに行く おしゃべりな道ペコちゃんのポストまで 辿り着く女の地図の十二色 子の辿る道に一本接ぎ木する 成就した恋路にバラは褪せていく 頬杖の憂いタバコの輪を辿る 虹色の迷路を辿るエピソード	岩本 笑子 香月 みき 古谷龍太郎 大嶋都嗣子 老沼 正一 吉川 哲矢 阪本ちえこ 問可 圧子 巽 俊一 樋口 眞 森田 律子 みよしすみこ 鎌田ちどり 居谷真理子 佐藤 陶猿 藤本 鈴菜 小代千代子 三原 洞南 古川 政章 松本ひとみ 木田比呂朗	生命線たどる答えは出ないまま 幸福の手がかり辿るスニーカー 手がかりを辿る黒革手帳から ピリオドは風に任せて辿る旅 存らえて辿る人生詩がある 慟哭の果て御仏に辿りつく 思い出をゆっくり辿る風は春 幾山河越えた指紋が薄くなる 胸に手を当てると悪い芽は私 湧き水を辿れば森の精に逢う 最高の旅わが家への帰り道 真相の裏へ矢印まだ続く ひたむきに辿ると見えてくる灯り 三つ星の味も辿れば母の味 宇宙葬スターダストへ辿りつく 卑弥呼まばろし遙か遙かを今辿る 漆黒に宇宙のルーッ辿る旅 タイムカプセル僕たちの夢辿る 茨さえも辿れば今は懐かしい 敗因を辿るとボクに突き当たる 好きな道辿り着くまで九十九折	藤村 容子 豊田 芳香 佐藤 后子 小林すみえ 吉瀬 久子 戸田 清孝 安部 美葉 富田 博 田中五十鈴 榊原 栄宜 田中きみ子 加賀田千拓 中山恵美子 山本 宏 植田のりとし 佐藤 辰雄 角野たかし 中井 佳子 川畑めぐむこ 山田 順啓 澤山よう子
---	--	--	---

無人駅ここから辿るマイルーツ	寺井 一也
血みどろになつて自分を追いかける	田中 新一
今宵満月遠くで父の数珠が鳴く	須藤しんのすけ
木漏れ日を辿れば慈母の一軒家	池谷三和子
けもの道辿る芽吹いていくころ	堀口 雅乃
風に吹かれ終の住処に辿り着く	濱野とみ子
廃線を辿るわたしに出逢うまで	木本 朱夏
手探りでたどるここまで善戦だ	若山 宗彦
花丸の二重をたどる親の指	森 繁生
ブーメラン冬から春へめぐる音	清水まち子
枯れ葉一枚君の駅へと辿り着く	平井美智子
地図にない道を辿って今日の僕	梅川 一恵
ふるさと行きの列車のベルを聞きにいく	正信寺尚邦
野仏の記憶を辿るわらべ歌	坂本 星雨
ちぐはぐな夫婦茶碗が辿る道	黒川 孤遊
原点を辿ればたわいない火種	小林ふく子
道なき道も辿ればやがて道になる	岡村 千鳥
初恋を辿ると深い霧の中	北出 北朗
鎖骨から私を辿る春の指	米山明日歌
眠れぬ夜辿る記憶に終わらない	島村 青窓
座標値を辿る母は認知症	野村 賢悟

螢火を辿ればナイーブな月日	佐藤寿美子
信念を辿ると一枚の踏み絵	藤田 武人
旅人になっているふる里の道	安藤 敏彦
憧れの星を辿ってジャンプする	平松 直樹
難解な文脈辿る謝罪文	長谷川あけみ
タンポポの綿毛の辿る未知の国	前川 淳
日本人愛を辿るとひらがなに	大高 正和
あなたを辿る指の先から吹雪	中武 弓
シュレッター語尾のあたりを今辿る	菊田 信子
迷ったら五段活用して辿る	山本 昌乃
血脈をたどると遠野ものがたり	阪本きりり
カタツムリほどの歩みで回復期	楠根はるえ
神の辿った跡だ野花が咲いている	高畑 俊正
女王の悲劇はビスクドールまで	くんじろう
フェスタ賞	
Wi・Fiを辿れば青白きニーチェ	石橋 芳山
母辿るように和服に袖通す	澁谷さくら
辿り来てあえかに光る絹の糸	黒田 弥生
選者吟	
これからを辿る日捲り繰りながら	

宿題「反応」



田中 新一 選

(番傘川柳本社)

円安がうちのメニューに跳ね返る	地球のことすべて反応株価欄	手心えのよさにスタッフ元気づく	熱射反応市電の揺れる原爆忌	反応を見つつミサイル連射する	老犬は赤いバイクに吠えません	了解の返事が温い電熱器	喚声がないといらいらする花火	感染の埒塙に神は無反応	マスクして第六感が鈍くなる	つぶやきですぐに炎上する憂き世	反応を試されている老人科	脳の指示手足にちよっとタイムラグ	反応が弱まる老いの孤独感	ばあちゃんが笑うガラス越しの安堵	百歳の母が笑って春になる	おばちゃんをその気にさせるテレシヨップ	懐メロの慰問手拍子すぐに乗り	花の雨猫にあくびをうつされる	春の陽を浴びていのちが歌いだす	四季の風我が煩惱が響きあう
林 ひろ子	奥 勝視	樋口 眞	松本壽賀子	宮本彩太郎	馬場かおる	木下 正己	伊藤三十六	笠原 淑子	渡辺 しづ	安藤 敏彦	橋本 恭治	北野 哲男	三村 一子	森田 旅人	谷川 香與	前田か乃子	森本志真子	阪本 高士	坂本 星雨	山口 龍一
熊野道スマホ圏外畏まる	夕焼けが綺麗で繋ぎたくなる手	七色の声で反応するわたし	泣きながら横目でママの顔を見る	反応が増えてやり甲斐ある育児	反応した絵本に夢が溢れだす	すぐ反応しないと孫に飽きられる	手心えがあつたと孫の受験票	山を継ぐ木霊返らぬ子の育ち	それぞれの子らに道あり回る独楽	何食べたい何でもいとそっけない	ぶつぶつが出る体質で難儀する	欲しそうな顔をしたのか酒が出る	ライバルの駒のゆくてを見る一途	身を守るためだったのか牙をむく	幸せの尾行ばかりをする嫉妬	大袈裟な言い訳誰か咳一つ	金の話やっぱ耳が尖り出す	焼酎に焼き鳥たすと愚痴生まれ	クラス会胸がキュンキュン返る	くすぐられ愛の欠片が疼き出す
穴戸三喜恵	上坊 幹子	安部 敦子	播本 英二	八木 柚子	佐藤 辰雄	守田貴美子	みよしすみこ	三原 洞南	小山内 睦	北川ヤギエ	こやまひろこ	新家 完司	中山恵美子	富永 恭子	位田 仁美	富士野耕平	山下 華子	田村 富夫	西 美和子	深谷 隆志

悲しみを一緒に泣いてくれた友
 思い切り泣けばスッキリ日が昇る
 反応のないまま終わる戯画の春
 ごめんなさい言えば笑顔のこちらこそ
 飾らない言葉にもある副作用
 吐き出した台詞が醸し出すパトス
 一呼吸置いて返って来る訝
 母の手に触れるとすぐにねむくなる
 咳払いただそれだけの父の背
 無意識の急ブレーキが増えてくる
 何曜日妻がニヤニヤ試すボケ
 疲れたと言ったら妻が私もよ
 おいおいの声に返事をする暮らし
 アレやがなコレですやんと老夫婦
 あれと言えばあれが出て来る妻という
 妻の顔反応を見て距離をとる
 目配せの妻の合図で動きます
 変化球投げて妻は打ち返す
 病む妻へ敏感になる水まくら
 反応なき妻抱きしめてありがとう
 病む妻が微かに見せた片笑窪

渡辺 富子
 近藤 クニ
 相部 秀彦
 大内 朝子
 穂山 常男
 稲葉 良岩
 渡邊 とり
 常國 喜好
 小代千代子
 小金澤貫一
 新川 博子
 掃部 博隆
 前川 正子
 大久保真澄
 河合 守
 佐々木快生
 勝又 康之
 平田ケン次郎
 石谷 恵子
 太田 佳生
 武田 香風

ほめまくり明日へとつなぐ主夫料理
 有り難うこの一言が角を取る
 熨斗袋中身で変わる孫の顔
 年金日狂うことなし孫の声
 朝ごとに目覚めて動き出す五欲
 鈍感になって大物らしくなる
 音のする方へ五欲がにじり寄る
 薔薇色に人生変えた発火点
 びったりの言葉が出ないもどかしさ
 打てば響くわたいでいたい鶴を折る
 反応のにぶい男の手をつなぐ
 顔色を見て噛み方を変えてみる
 はっとするいるはずのないキミの声
 水ボトリわかっててくれていたんだね
 フェスタ賞
 理科室の青い炎で見たロマン
 野に浸り宇宙の心知る賢治
 ページ繰る胸に仄かな灯がとる
 選者吟
 なにくそがある限りあしたへ挑む

坂梨 和江
 藤原 黎子
 やまぐち 九
 長谷川 崇明
 小山 紀乃
 首藤 忠平
 井本 健治
 本多 雅子
 南波 正宗
 仲村 周子
 真島美智子
 橋倉久美子
 替地三枝子
 市井 美春
 小菅 八柳
 石川 雅子
 松本 柊子

宿題「和む」



森中恵美子 選

(番傘川柳本社)

お正月やっぱりええなお正月	植野 繁子	阿闍梨もち携え和む母の顔	中川 洋子
今年こそ風和らかになる年に	こはりつよし	和三盆笑ってござる仏さん	鈴木 和枝
凍土からにつこり顔の福寿草	饗庭 風鈴	コーヒーもいがやっぱりと和む酒	蔀 帆子
紅と紅重ねて開く肥後椿	清水まち子	縄のれんくぐるとお帰りと言われ	前中 知栄
厳冬の駅に届いた早春賦	榊原 栄宜	串カツと河内音頭でなごんでる	西澤 知子
喉元を過ぎた辺りで和む春	てつろう	ばあちゃんを炬燵のように囲んでる	内田 閑磔
春風を纏うた君が来て座る	みぎわはな	思い出ぐさと忘れな草と春炬燵	木藤 恵子
老いとませる二ヶ月のチョコレート	木田比呂朗	団欒もマスクに慣れて自然体	西澤 司郎
絵手紙の鬼と豆まきしています	津田 照子	正座から胡座になって緩む顔	山下 華子
和やかな顔が揃って初句会	丸山 重司	妻と飲む小樽切り子で旅語る	中村 勝則
お茶の間に百人一首ひびく声	北村あじさい	ケアホームセラピー犬に癒やされる	谷口 修平
描き初めのろう梅香る小宇宙	木見谷孝代	込み入った話にネコがいて和む	中原 京子
和む日を返してほしい拉致の海	橋田 綾子	南無阿弥陀唱えて和む仏の間	古閑 萬風
戦争が終われば丸くなる地球	伊藤三十六	大の字になって仏間の風受ける	肥田木聞明
コロナ禍に家族揃ってやや和む	山口タカシ	気が和むニュースを探す地域版	市川 博
真ん中に百歳がいて笑う声	市田 鶴邨	花の下車座で飲む隣組	田中 薫
味噌汁の旨さに和む嫁の位置	大山 登華	お隣に元気なお嫁さんが来た	仁部 四郎
湯豆腐がゆらり私の気もゆらり	中武 弓	病室の和みオルゴールの音色	田中美弥子
すき焼きをつついて喋る夜の膳	塩谷 邦子	雨が上がり虹が突然やってきた	柴田 桂子
はんなりと和む低めの帯の位置	成瀬 雅子	老いふたりメダカに愛を注ぐ今	染山 朝子
相づちのふと欲しくなる雛あられ	美馬りゅうこ	愛犬と同室アルプスの湯宿	永見 心咲

恙なく金婚むかえ和む酒 安西 廣恭

玄関に生花の香りする実家 松井あもん

グランドの鬼が座敷で安米節 子安 武

和の中に入れて下さい無色です 小菅 八柳

にんげんがいないと地球儀が和む 鴨田 昭紀

父と子が和む夕餉のワンカップ 坂本 喜文

まあるく治めて仁鶴はんの四角 藤本 鈴菜

今年またいつもの池にカモ夫婦 冨永 恭子

目を伏せて強面ブリン一個買い 榎田 次郎

さあどうぞ一杯のお茶つつがなく ただれいな

縁側で和顔愛語の声がする 佐藤 陶猿

すれちがった少年からのこんにちは 小林すみえ

あきのななくさに母さんみいつけた 岡部 則正

一汁一菜ああ僕は幸せ 田村美穂子

ふる里の話に和む帰省バス 高木 遊楽

日常を和む男は髭を剃る 佐藤 后子

最期にはきつと言いますありがとう 佐藤よしき

日本中の家族に笑いサザエさん 敏森 廣光

大根も人参もよく胃に和む 樋口 祐子

大声を出すと和むのですわたし 古川 洋子

近況の後はサブリの花盛り 太田 省三

老夫婦頷き合って日が暮れる 吉福万利子

のっけから寂聴節で和ませる 中村八十八

一筋の煙になってほっとする 古谷龍太郎

散骨の浜辺で桜貝ひろう 前田か乃子

人文字が少し曲がっていて和む 三宅 保州

ほっとする人間に会い涙ぐむ 国房 学

赤ちゃんが泣いてみんなが笑いだす 大岩 郁夫

家族ひとり増えて話題に事欠かず 三好 聖水

観音も菩薩も浮かぶ露天風呂 伊藤 良一

和むまで撫でるビリケンさんの足 長島 敏子

仏さま今日も命をありがとう 横井 幸子

苔むしてお不動さんはやわらかい 千田 祥三

みかん剥く炬燵で母と明日のこと 久々湊公美子

赤ちゃんが笑う満座は花になる 佐藤 辰雄

フェスタ賞

一人の笑顔そしてみんなの笑顔 西尾美紗子

菜の花が他人の庭に咲いている 真島久美子

小豆粥ははちいさく老い給う 木本 朱夏

選者吟

恵方巻き鬼を待たせているのです